

診療活動

- 1.診療スタッフ
- 2.施設・設備の状況
- 3.高度先進医療
- 4.地域医療とのかかわり
- 5.卒後臨床研修の方針と状況
- 6.外来患者者数及び入院患者数
- 7.診療用施設・設備の整備
- 8.医療収入
- 9.診察費用請求額に対する査定減
- 10.各種療法等の届出状況
- 11.総合診療部
- 12.エイズ拠点病院の指定について
- 13.院内学級
- 14.看護・給食・寝具設備の状況

1 診療スタッフ

(1) 診療要員の設置状況

本院の診療要員は、教官（教授，助教授，講師，助手），医員（医師免許取得後 2 年以上の者）及び医員（研修医）（医師免許取得後 2 年以内の者）の計約 350 名前後である。

最近の 3 年間の診療スタッフの配置状況（各年 7 月 1 日現在）

（以下リンク内容）

区分	教授	助教授	講師	助手	医員	研修医	計
平成5年度	16	18	34	93	111	93	365
平成6年度	17	17	37	92	126	86	375
平成7年度	16	16	35	93	103	81	344

(2) 診療支援要員

診療支援要員としては、各診療科，中央診療各部署及び薬剤部にそれぞれの担当業務を処理するに必要な資格を有する者等約 100 名が配置されている。

(3) 看護要員

看護要員としては、病棟，外来及び中央診療部署に助産婦，看護婦，准看護婦及び看護助手 318 名が配置され、本学の基本理念を果たすため、医療チームの一員として、他の医療メンバーと協働しながら、患者中心の看護活動を行うことにより、地域社会に貢献することを使命とし努力している。

2 施設・設備の状況

現有の医療機器の中には、設置後 10 年以上使用したものがあり、劣化による故障に対応できないものがある。

また、近年の医療技術の向上は極めて著しいものがあり、最新の医療機器が日々開発されており、地域の中核の医療機関として、最新の医療機器を整備し、地域の要望に応える必要がある。

施設面においては、長年経過した建物も多く、また、医学部・同附属病院は現有施設が狭隘で、教育、研究及び診療について将来的な発展が望めないため、移転整備による将来構想の早期実現が待たれるところである。

3 高度先進医療

地域の中核医療機関として、大学病院特有の難病、重症患者などの医療を行うとともに、今後の実施についても現在検討されている。

本院の高度先進医療

「培養細胞による先天性代謝異常診断」

- ・皮膚生検に基づく検査
- ・培養細胞からの検査

4 地域医療とのかかわり

本院の地域医療とのかかわりは、医学部の基本理念でも言及したとおり、県内の中核的病院として地域医療に貢献することを使命としており、本来の業務に加えて多数のスタッフが岐阜県医療審議会をはじめとして県及び各市町村の医療・保健等に関連する各種委員会等に委員として参画している。また、本院で研鑽を積んだ多数の医師が、県内をはじめ多くの府県の医療機関で診療に携わっており、教育、研究・研修及び診療業務について、その責務を全うしているものである。

(県内)

医師派遣先病院等一覧 (県内) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その1

(以下リンク内容)

病院名	診療科名	常勤・非常勤 の別	
		常勤	非常勤
県立岐阜病院	消化器科、呼吸器科、神経内科、総合内科、外科、胸部外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、小児科、放射線科、麻酔科、歯科、口腔外科	82	12
岐阜市民病院	内科、消化器内科、血液内科、呼吸器科、胸部心臓血管外科、外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神科、小児科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科	83	9
高山赤十字病院	内科、外科、救急部、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、小児科、放射線科、口腔外科	47	3
県立下呂温泉病院	内科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科、小児科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科	35	3
厚生連養老中央病院	内科、外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、小児科、歯科口腔外科	22	11
国立療養所岐阜病院	内科、歯科	8	2
厚生連中濃病院	内科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、小児科	17	9
国保関ヶ原病院	内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科	17	1
厚生連岐北病院	内科、外科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、小児科、歯科口腔外科	27	8
岐阜赤十字病院	内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神神経科、小児科、麻酔科	29	6
羽島市民病院	内科、外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神神経科、小児科、麻酔科	33	11

医師派遣先病院等一覧 (県内) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その2

病 院 名	診 療 科 名	常 勤 ・ 非 常 勤 の 別	
		常 勤	非 常 勤
朝日大学附属村上記念病院	内科、脳神経外科	7	
国立療養所高山病院	内科	4	
木澤記念病院	内科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、小児科	23	10
西尾病院	内科	5	3
白川病院	内科、外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、小児科、歯科	5	10
笠松病院	内科、外科	4	4
藤掛第一病院	内科	2	2
神岡鉱山病院	内科、歯科	2	3
岩砂病院	内科、小児科	4	9
山田病院	内科	3	3
渡辺病院	内科、外科、整形外科	3	10
八幡病院	内科、眼科、泌尿器科	3	6
上石津町診療所	内科	1	
五井病院	内科		2
新生病院	内科、外科	2	4
聖病院	内科	2	3
不破ノ関病院	内科、精神科	1	4
山内ホスピタル	内科	6	4
法務省共済組合	内科		2
岐阜地方検察庁 支部診療所			
岐阜県職員互助会岐阜診療所	内科		1
岐阜精機(株)診療所	内科		1
中部電力(株)岐阜支店診療所	内科		1
三菱マテリアル(株)	内科		3
岐阜製作所診療所			
高島屋医務室	内科		2
東可児病院	内科	1	1
松波総合病院	内科、産婦人科、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神神経科、小児科、麻酔科、口腔外科	33	12
平野総合病院	内科、外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、小児科	22	27
博愛会総合病院	内科、整形外科、泌尿器科、小児科	5	9
鷺見病院	内科、外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科	6	7
(社財)岐阜病院	内科		2

医師派遣先病院等一覧 (県内) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その3

病院名	診療科名	常勤・非常勤 の別	
近石病院	内科、外科、整形外科、皮膚科	8	7
朝日大学歯学部 附属病院	内科	4	1
白鳥病院	内科、外科、産婦人科、小児科	4	8
松浦病院	内科	4	1
愛生病院	内科	1	
操クリニック	内科	2	4
揖斐総合病院	内科、外科、整形外科、眼科、 耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器 科、精神科、小児科、麻酔科、 歯科口腔外科	30	6
澤田病院	内科、外科	11	8
郡上中央病院	内科、外科、産婦人科、整形外 科、耳鼻咽喉科、小児科	12	7
私立美濃病院	内科、産婦人科、耳鼻咽喉科	5	6
長良川病院	内科		1
岐阜西病院	内科	2	2
横山病院	内科	2	1
操医院	内科	1	1
藤掛病院	内科		1
千手堂病院	内科		1
太田病院	内科		1
小林内科	内科		2
金山町国保病院	内科、外科、耳鼻咽喉科、小児 科、歯科	9	7
海津郡医師会病 院	内科、外科、整形外科	8	
早徳病院	内科、外科、整形外科	1	4
安江病院	内科、脳神経外科、小児科		15
みどり病院	内科	1	4
河村病院	内科、脳神経外科、小児科	2	5
市立美濃病院	外科、脳神経外科、眼科	3	5
養老中央病院	外科、整形外科、脳神経外科、 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌 尿器科、小児科、麻酔科、歯科	13	11
関中央病院	外科	2	1
国立療養所長良 病院	外科、精神科、小児科、歯科	13	4
安江外科病院	外科	2	
操外科病院	外科	2	
下野外科	外科	1	
東可児病院	外科	1	

医師派遣先病院等一覧 (県内) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その4

病院名	診療科名	常勤・非常勤 の別	
		常勤	非常勤
谷汲村診療所	外科	1	
武儀町国保診療所	外科	1	
上之保村診療所	外科	1	
東海中央病院	産婦人科、耳鼻咽喉科、 歯科口腔外科	5	5
多治見市民	産婦人科、眼科、小児科	9	2
大橋整形外科病院	整形外科	1	2
県立希望が丘学園	整形外科、小児科	4	2
岐阜リハビリテーション病院	整形外科	2	
航空自衛隊岐阜地区病院	外科、歯科		2
整形外科城南病院	整形外科		
長良整形外科病院	整形外科	3	2
大垣中央病院	整形外科	1	2
中部整形外科病院	整形外科	3	
渡辺病院(加納)	整形外科		1
土岐市立総合病院	脳神経外科、小児科	5	1
根本外科病院	脳神経外科		2
大垣市民病院	眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、 小児科、泌尿器科	17	5
尾西病院	眼科	1	1
神岡鉦山病院	眼科	1	
岐阜市福祉センター(みやこ園)	耳鼻咽喉科		2
高山久美愛病院	皮膚科	1	1
総合病院昭和病院	泌尿器科	1	1
東白川病院	泌尿器科		5
養南病院	精神科	1	3
下呂谷敷病院	精神科	1	
岐阜南病院	精神科		1
各務原病院	精神科	3	3
美濃加茂病院	精神科	3	1
須田病院	精神科	2	1
大垣病院	精神科	1	2
大湫病院	精神科	1	3
朝日大学学生相談室	精神保健相談		1
羽島保健所	嘱託医		1
井奈波保健所	嘱託医		1

医師派遣先病院等一覧 (県内) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その 5

病院名	診療科名	常勤・非常勤の別	
		常勤	非常勤
岐阜市南保健所	嘱託医		1
岐阜県精神保健センター	精神科	2	
関 保健所	精神科	1	
土岐市民病院	精神科		2
慈恵中央病院	精神科	1	2
大雄会病院	精神科	2	
県立岐阜病院新生児センター	新生児科	7	
岩村診療所	小児科		3
東濃病院	麻酔科	2	
笠松刑務所	歯科		1
岐阜県歯科医師会身障者治療室	歯科		1

(県外)

医師派遣先病院等一覧 (県外) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その 1

病 院 名	診 療 科 名	常勤・非常勤の別		所在県名
		常勤	非常勤	
国立療養所豊橋東病院	内科、小児科、胸部心臓血管外科	5		愛知県
国立豊橋病院	歯科		1	
名古屋共立病院	内科	3		
町立木曽川病院	内科、整形外科、耳鼻咽喉科	7	5	
豊川市民病院	内科		2	
名古屋記念病院	内科	1		
犬山病院	内科		3	
犬山中央病院	内科、脳神経外科、麻酔科、皮膚科	9	2	
佐藤外科病院	内科	1	2	
青山病院	心臓血管外科	3	1	
町立木曽川病院	外科	2	1	
佐藤外科病院	外科	3		
国井病院	外科	2		
愛知がんセンター	外科、頭頸部外科、放射線科	3		
中野胃腸病院	放射線科	1		
松浦病院	内科、整形外科、外科、眼科	6	5	
大雄会第一病院	泌尿器科	4	1	
大雄会総合病院	内科、整形外科、脳神経外科、精神科、麻酔科	16	6	

医師派遣先病院等一覧 (県外) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その2

病 院 名	診 療 科 名	常勤・非常勤の別		所 在 県名
		常勤	非常勤	
中部労災病院	麻酔科	4	1	愛知県
名古屋徳州会病院	外科系、整形外科、眼科、小児科	6	5	
尾張健友会千秋病院	眼科	1	2	
中部労災病院	耳鼻咽喉科	3	2	
J R 東海総合病院	耳鼻咽喉科	2		
名鉄病院	耳鼻咽喉科	2		
東海記念病院	泌尿器科	1	1	
トヨタ記念病院	泌尿器科	2	1	
小牧市民病院	泌尿器科	2		
新城市民病院	小児科	3		
彦根市立病院	整形外科	5		滋賀県
豊郷病院	整形外科	2	1	
長浜赤十字病院	神経内科、内科、泌尿器科	6	4	
大阪セメント(株) 診療所	内科		1	
草津中央病院	産婦人科	1	1	
山崎病院	内科	1	2	
友仁・山崎病院	外科	4		
遠藤病院	外科	2		
彦根市立病院	泌尿器科	2	4	
市立長浜病院	小児科	4		
虎姫診療所	全科	1		
私立長浜病院	内科	4		
静岡厚生病院	眼科	2		静岡県
清水厚生病院	眼科	2		
浜松耳鼻咽喉科サージセンター	耳鼻咽喉科	2		
聖隷三方原病院	内科	2		
国立東静岡病院	外科、心臓血管外科	8	2	
甲賀病院	外科	2		
静岡市立静岡病院	脳神経外科	3		
浜松労災病院	脳神経外科	1		
掛川市立総合病院	泌尿器科	2		
国立静岡病院	脳神経外科	2		
袋井市民病院	脳神経外科	3		
藤枝市立志太総合病院	歯科口腔外科	3		
静岡済生会総合病院	歯科口腔外科	2		
静岡医療福祉センター	歯科口腔外科		1	

医師派遣先病院等一覧 (県外) 平成 8 年 6 月 1 日現在 その3

病 院 名	診 療 科 名	常勤・非常勤の別		所在 県名
		常 勤	非 常 勤	
社会保険桜ヶ丘総合病院	歯科口腔外科	1	3	静岡県
大橋小児科医院	小児科	1	1	
平田病院	内科	2	1	三重県
公立小浜病院	整形外科、歯科	4	1	福井県
敦賀市立敦賀病院	歯科	2	1	
厚生連高岡病院	歯科	2		富山県
国立療養所七尾病院	小児科	1		石川県
国立がんセンター	外科、皮膚科、放射線診断部	4		東京都
癌研附属病院	外科、放射線科	2		
国立精神・神経センター	小児科		2	
都立清瀬小児病院	腎臓内科		1	
都立駒込病院	外科	1		
友愛クリニック	泌尿器科	1		埼玉県
亀田総合病院	消化器内科	1		千葉県
市立函館病院	脳神経外科	1		北海道
泉谷病院	外科	2		京都府
国立循環器病センター	脳神経外科、小児科、放射線診断部	4		大阪府
府立羽曳野病院	内科	1		
足立病院	外科	2		兵庫県
偕生病院	外科	1		
あさぎり病院	外科	1		
高松赤十字病院	内科	2		香川県
愛媛労災病院	脳神経外科、小児科、麻酔科	7		愛媛県
前田病院	外科	1		福岡県
県立那覇病院	脳神経外科	1		沖縄県
中頭病院	小児科	1		

また、医師及び歯科医師の生涯学習に資するとともに、地域の診療所、病院等との連携を促進し、地域医療の発展に寄与することを目的として、研修登録医の受入れを実施している。

研修登録医の受入れ状況

研修登録医の受入状況			
区分	平成5年度	平成6年度	平成7年度
研修登録医	17人	20人	22人

現在 17 診療科で 18 人受け入れているが、1 診療科 1 人を目標に努力したい。

5 卒後臨床研修の方針と状況

医師免許取得後の臨床研修は医師にとって最も重要な研修であり，その効果的な実施は医学部附属病院に課せられた任務の中で最も重要なものの一つである。

本院は毎年 80 人前後の医学部卒業生を受け入れて初期臨床研修を実施，岐阜地域における優秀な臨床医，臨床研究者の育成に重要な役割を果たしている。

(1) 医員 (研修医) について

医員 (研修医) の研修については，卒後研修委員会作業部会を中心に，各診療科の協力を得て，平成 7 年度から新しくローテート研修プログラムがスタートした。平成 8 年度からはこれを改訂し，さらに充実させたプログラムにより初期臨床研修を実施している。

最近 3 年間の医員 (研修医) の受入状況

(2) 医員について

医員は，非常勤の医師として，診療に従事し必要に応じ診療を通じての臨床補助的職務及び診療に関する研究にも従事している。

最近 3 年間の医員の受入状況

(以下リンク内容)

最近 3 年間の医員 (研修医) の受入状況														
年 度	予定定員 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5年度	84	61	54	98	93	93	93	93	91	85	80	79	78	83
6年度	85	51	47	89	86	81	82	81	77	70	69	68	66	72
7年度	85	43	32	84	81	81	80	78	77	73	71	70	67	70

6 外来患者数及び入院患者数

(1) 外来患者数

外来患者数については年々増加し、平成 3 年 4 月から土曜日休診となったが、患者数には影響は出ていない。

最近 3 年間の患者数

区 分	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度
外来患者数	283,489人	291,426人	288,029人
1 日平均患者数	1,162人	1,190人	1,171人

(2) 入院患者数及び病床稼働率

600 床について最近 3 年間の入院患者数及び病床稼働率の推移

7 診療用施設・設備の整備

最近 3 年間の設置状況

最近 3 年間の設置状況				
要求年度	事項・内容等	設 置 状 況		
		5 年度	6 年度	7 年度
平成 5 年度	鼻内手術装置			
	細胞自動解析分離測定システム			
	温熱療法治療装置			
	総合血液学的検査システム			
平成 6 年度	循環器 X 線診断システム (2-1)			
	体外衝撃波結石破碎装置			
	循環器 X 線診断システム (2-2)			
平成 7 年度	手術顕微鏡装置			
	眼科用レーザーシステム			
平成 7 年度	患者監視治療装置			
	患者監視装置			
	頭部シングルホトン CT 装置			
	デジタルガンマカメラシステム			
平成 7 年度	人工透析管理システム			
	磁気共鳴断層撮影装置 (MRI)			

8 医療収入

最近 3 年間の診療費用請求額・収入額状況

最近 5 年間の診療費用請求額・収入額状況			
区 分	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度
診療費用請求額	8,092,660 千円	8,902,963 千円	9,234,435 千円
診療費用収入額	8,007,217 千円	8,715,964 千円	8,912,766 千円

9 診療費用請求額に対する査定減

最近 3 年間の査定減率状況 (保険請求分)

最近 3 年間の査定減率状況 (保険請求分)			
区 分	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度
診療費用請求額	7,126,475千円	7,849,740千円	8,134,852千円
査 定 減 額	53,311千円	56,887千円	73,080千円
査 定 減 率	0.75 %	0.73 %	0.90 %

10 各種療法等の届出状況

療法等の名称	届出年月日	備考
理学療法Ⅱ	昭和42年6月1日	
重症者等の特別の療養環境	昭和57年8月1日	
特定集中治療管理	平成4年7月1日	
薬剤管理指導	平成4年11月1日	
紹介患者加算Ⅱ	平成6年4月1日	
院内感染防止対策	平成8年8月1日	
高度難聴指導管理	平成6年6月1日	
検体検査管理	平成8年4月1日	
画像診断管理	平成8年4月1日	
人工内耳埋込術	平成7年6月1日	
補助人工心臓	平成8年2月1日	
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成6年7月1日	
病院歯科Ⅰ	平成6年6月1日	
麻酔管理料	平成8年4月1日	
歯科補綴物維持管理料	平成8年4月1日	
病衣貸与加算	昭和56年2月1日	
入院時医学管理料 (105/100 加算)	平成4年4月1日	
初診時特定療養費 (1,545 円)	平成8年7月1日	

11 総合診療部

近年の医学の進歩は、著しい技術革新と相まって、臨床医学分野における専門化・細分化が進むなかで、身体、精神、ライフスタイル等を含めた総合的な観点から見た医療と健康についてのプライマリ・ケアを中心とした全人的医療の考え方が幅広く展開されつつある。

また、特に、内科や外科などの場合に、どの診療科を受診すればいいのか分からないという患者や、必ずしも専門治療を必要としない患者も多々ある。

このような状況に対応するため、平成 8 年 7 月から総合診療部を院内措置として発足させ、プライマリ・ケアを中心とする総合診療機能を明確に位置付けた診療体制を充実させた。

総合診療部は、専門診療科との緊密な連携の下に、それぞれの担当分野において治療に当たり、総合治療体制（外来部門）の中核として、専門医療を受けるまでのプライマリ・ケアを中心に、専門外来への受診指導・介助、外来手術、小手術、手術予定患者で専門分野以外の領域の術前検査の評価、術後年数を経た追跡患者の治療予後の予測と評価などを行う。また、服薬、看護、食事指導等を包括的に行うと共に、入院時のプライマリ・ケアも担当し、全人的医療を行う。

外来部門は、専門診療科との緊密な連携の下に治療に当たり、専門的な治療行為に至った段階で患者と治療のすべてを関連の専門治療に移行する。

入院部門は、各専門診療科の枠を超えた共通利用部門とし、ICU - CCU - HCU 該当患者、人工透析患者、各病棟に入院中の高度医療を必要とする患者及び全身麻酔施行の術後患者等を各診療科の担当医と協力して窓口業務を担当する。

さらには、臨床研修の場として、卒前・卒後の教育においても、プライマリ・ケアを中心とした全人的医療を行える医師の養成に尽力する。

12 エイズ拠点病院の指定

エイズ診療の拠点病院の機能としては、エイズに関する総合的かつ高度の医療の提供と共に、情報の収集と地域の他の医療機関への提供、地域内の医療従事者に対する教育・技術的支援が期待されている。

本院においては、平成 7 年 2 月に、岐阜県におけるエイズ拠点病院の指定について岐阜県衛生環境部長から要請をうけ、院内感染対策委員会の審議を経て同年 3 月の科長会議でこれを受諾することが承認され、また、平成 8 年 5 月の科長会議でこれを地域の自治体等に公表することが承認され、岐阜県立病院と共に公表された。

患者の診療に当たっては、院内感染対策委員会の作成した「HIV 感染症に対する診療・看護・剖検マニュアル」に基づいて、第一内科を中核として、他の診療科との連携により拠点病院としての責務を全うすべく努力しているところである。

今後については、患者カウンセリング体制の充実、現状に即した院内感染防止対策の見直し、職員の HIV 感染症についての正しい知識の教育、岐阜県内の他の医療機関との連携などの整備を図っていくこととしている。

13 院内学級

文部省では、教育の機会均等の観点から、平成 5 年 6 月に「病気療養児の教育に関する調査研究協力者会議」を設置し、病気療養児の教育の在り方について調査研究を進め、平成 6 年 12 月にこの教育の特質、意義、課題と今後構すべき施策について、「病気療養児の教育について」としてまとめ、各都道府県教育長あてに（通知）されている。また、平成 7 年 12 月には、文部省初等中等教育局企画官から事務局長を通じて、附属病院に早期に院内学級を設置されたいとの要望があった。

このような状況に対応するため、院内での検討を重ね、さらには岐阜県教育委員会岐阜教育事務所、岐阜市教育委員会との協議を経て、小児科病棟の一部を改装、転用の上設置することとし、平成 8 年 4 月に開級したものである。

院内学級は、岐阜市立京町小学校、同伊奈波中学校の病弱児学級として位置付けられ、「むくの木学級」と名付けられている。開設当初は小学生 5 人、中学生 2 人の入級者であったが、平成 8 年 9 月末現在では小学生 11 人、中学生 4 人の入級者となっている。

現状の施設は、応急的に改装、転用したものであり、小・中学校用教室とも約 20m²しかない。特に小学校においては基準を超えた入級児童数となっているため、教育実施上支障をきたしている。将来的には教室増と共に職員室や多目的に利用するための特別教室等の設置も検討する必要がある。

14 看護・給食・寝具設備の状況

(1) 新看護

看護・給食・寝具設備の状況			
新看護			
区分	新看護類別	届出年月日	備考
一般病床			
病床数 563 床	2.5 対 1 看護 (A)	平成6年10月1日	
精神病床			
病床数 37 床	〃	〃	

(2) 入院時食事療養

入院時食事療養		
区分	届出年月日	備考
入院時食事療養 (I)	平成6年10月1日	特別管理給食加算を実施
		(平成5年1月1日)

(3) 入院環境料

入院環境料		
区分	届出年月日	備考
病衣貸与	昭和56年2月1日	
寝具設備	昭和42年6月1日	